



署名と請願を手渡す中山克己世話人(左)と余呉町議会で

高レベル核廃棄物最終処分場

国の公募に応じないで

余呉町議会に住民グループが町半数の署名提出

余呉町が原発から生じる高レベル核廃棄物最終処分場の文献調査受け入れを検討している問題で、住民グループ「余呉の明日を考える会」は五日、同町議会を訪れ、三國宏議長に、集めた署名を添えて「高レベル放射性廃棄物処分施設」の国の公募に応じないことを求める「請願書を手渡した。」(富田伸生)

考える会では、同町の二千二十七人の半数を人口(十一月末現在、四一〇〇人)に、十月十七日から署名

名活動を開始。署名には法的な拘束力はないが十二月四日現在、町内が二千四百十四人、町外が三千九百二十八人の署名が集まったという。中山克己、村上宣雄両世話人が町議会を訪問。「二千四百十四人の重みを受け止めて、十分審議してほしい」と話し、三國議長に手渡した。同会で

は同様の要望書を畑野佐久郎町長にも送った。また、岐阜県の「放射能のゴミはいらない」市民ネットワーク「岐阜」と「くらししぜん」のち、岐阜県ネットワークが全国から集めた調査に応募しないことを求める署名二千五百十二人分を同市民ネットワーク岐阜の兼松秀代表が三國議長に手渡した。

考える会では、今後も署名活動を続け、十二月議会開会前日の十二日に追加の署名を届けることとしている。

反対の署名8500人

放射能汚染性廃棄物最終処分場

3団体、余呉町議長に提出

余呉町が高レベル放射性廃棄物の最終処分場を誘致する意向を示している

問題で、「余呉の明日を考える会」(中山克己世話人)など3団体が5

日、誘致に反対する町内外の約8500人の署名を添え、候補地に応募し

ないよう求める請願書を三國宏議長に出した。畑野佐久郎町長あてにも同じ趣旨の要望書を提出した。

署名集めは、考える会のほか、「放射能のゴミはいらない」市民ネットワーク「岐阜」など岐阜県の2つの過半数という。請願書は、放射性廃棄物の有効な処分方法が確立されていない▽放射能が漏れれば影響は近畿一円に広がる▽調査にいったん応募すれば町長や住民の拒否権がなくなることを挙げ、応募に同意できないとしている。